

平成31年度  
大分大学大学院工学研究科  
博士前期課程

# 学 生 募 集 要 項

一 般 入 試  
社 会 人 入 試

平成30年5月



# 目 次

ページ

○大分大学大学院工学研究科博士前期課程入学者受入れ方針 (AP:アドミッション・ポリシー) ..	1
○大分大学大学院工学研究科博士前期課程ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) .....	2
○一般入試 (口述型・筆記型)	
1 入試日程.....	3
2 募集人員.....	3
3 出願資格.....	3
4 出願手続.....	4
5 出願書類等.....	5
6 選抜方法.....	7
7 選抜日時及び試験科目.....	8
8 試験会場.....	9
9 合格者発表.....	9
○社会人入試	
1 趣旨.....	10
2 入試日程.....	10
3 募集人員.....	10
4 出願資格.....	10
5 出願手続.....	11
6 出願書類等.....	12
7 選抜方法.....	12
8 面接試験の日程, 内容.....	13
9 試験会場.....	13
10 合格者発表.....	13
○共通項目	
1 障がいのある者等の事前相談について.....	14
2 入学手続.....	14
3 入学料及び授業料.....	14
4 注意事項.....	14
5 その他.....	14
○工学研究科博士前期課程案内	
1 コースの概要.....	15
2 分野別授業科目.....	16
○出願様式等	
入学志願書, 履歴書	
受験票, 試験会場案内図	
入学検定料払込証明書 (大学提出用) 貼付欄	
一般入試 (口述型) 推薦書	
研究 (希望) 計画書	
職務経歴書	
払込取扱票	
合格通知用住所シール	
受験票返送用封筒	
出願用封筒	

# 大分大学大学院工学研究科博士前期課程 入学者受入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

## 教育・研究の目標

自らの課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆりぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

## 求める学生像

工学研究科博士前期課程では、環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

1. 工学の分野に強い関心があり、深い専門知識と高度の技術を身につけることをめざしている人
2. 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、問題の解決に際しては計画的に調査や研究を行うことのできる強い意志をもっている人
3. 国際的な視野を有し、国際的に通用する能力や技術の獲得をめざしている人
4. 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

## 入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般入試のほか社会人入試及び外国人留学生入試を実施し、学生を選考します。

### ・一般入試（口述型・筆記型）

口述型では、学部での成績が極めて優秀である者か、あるいは、志望する専門分野に関する十分な基礎能力を持つ者として出身大学等により推薦された者に対して、専門基礎学力に関する口述試験による学力検査及び出願書類審査を総合して判定します。

筆記型では、入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び面接試験）及び出身大学等の成績証明書を総合して判定します。

### ・社会人入試

各種の研究機関、企業又は教育機関等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として本学大学院工学研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。入学者の選抜は、書類審査及び面接の結果を総合して判定します。

### ・外国人留学生入試

入学者の選抜は、学力試験、面接試験及び書類等を総合して判定します。

## 大分大学大学院工学研究科博士前期課程ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

大分大学工学研究科博士前期課程では、研究科の教育・研究の目標に則り、以下のような資質と能力を修得し、かつ学位審査基準を満たした学生に修士（工学）を授与する。

1. 専門分野における高度な知識・技術を有し、科学技術の進展を見据えながら、自立した技術者として新たな知識・技術を継続的に修得することができる。
2. 専門分野の新たな課題を自ら探求・発見し、問題を俯瞰的かつ多面的に捉えて整理・分析しながら解決することができる。
3. 国際的な観点から科学技術に関する情報を収集・分析し、多様化する科学技術の発展に対応できる能力と技術を自ら学習・獲得することができる。
4. 地球規模で起きている課題を理解し、それらの問題と科学技術との融合に関して技術者の視点から考察し、人類の発展に主体的に寄与することができる。

# 一般入試募集要項

## 1. 入試日程

区分	第1次募集		第2次募集
	口述型	筆記型	筆記型
出願期間	平成30年5月21日(月) ～5月28日(月)	平成30年7月19日(木) ～7月25日(水)	平成31年1月11日(金) ～1月17日(木)
試験日	平成30年7月2日(月)	平成30年8月20日(月) ～8月21日(火)	平成31年2月4日(月) ～2月5日(火)
合格者発表	平成30年8月29日(水)		平成31年2月15日(金)

※第2次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

## 2. 募集人員

専攻	コース	募集人員
工学	機械エネルギー工学 電気電子工学 知能情報システム工学 応用化学 福祉環境工学建築学 福祉環境工学メカトロニクス	135人

※各コースの受入れの目安は次のとおりです。

機械エネルギー工学コース 29人程度  
 電気電子工学コース 29人程度  
 知能情報システム工学コース 26人程度  
 応用化学コース 22人程度  
 福祉環境工学建築学コース 18人程度  
 福祉環境工学メカトロニクスコース 11人程度

※口述型の募集人員は、各コース若干名です。

### 3. 出願資格

#### 筆記型

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成 31 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 大学に 3 年以上在学した者、外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 他の大学に 3 年以上在学し、当該大学大学院に入学した者で、本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において 22 歳に達している者

注 1. 出願資格 (6) 及び (9) に該当する者については、出願前に入学資格の確認をする必要があるため、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

注 2. 出願資格 (10) については、短期大学、高等専門学校、専修学校（出願資格 (7) に該当する者を除く。）、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるものとしましたものです。これにより出願する者は、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

照会期限	第 1 次募集	平成30年7月3日(火)
	第 2 次募集	平成30年12月14日(金)

#### 第 1 次募集口述型

次の (1) ~ (4) のいずれかに該当する者で、合格した場合に入学を確約できる者

- (1) 高等専門学校専攻科を平成 31 年 3 月に修了見込みの者で、高等専門学校及び専攻科修得科目のうち、80 点以上に相当する評価が、科目数又は単位数の比率で 50% 以上の者。ただし、電気電子工学コースのみ 60% 以上の者。
- (2) 大学を平成 31 年 3 月に卒業見込みの者で、3 年次終了時における修得科目のうち、80 点以上の評価が、科目数または単位数の比率で 50% 以上の者。ただし、電気電子工学コースのみ 60% 以上の者。なお、本学出身者でこの出願資格を対象とするのは、機械エネルギー工学コース、電気電子工学コース、福祉環境工学メカトロニクスコースに限る。
- (3) 本学工学部を平成 31 年 3 月に卒業見込みの者で、3 年次終了時の累積成績指標値が各コースの定める数値以上の者。ただし、早期卒業対象者の累積成績指標値は 2 年次終了時のものとする。
- (4) 志望する専門分野に関する十分な基礎能力を持つ者として出身大学等により推薦された者。

- 注1. 出願資格（4）に該当する者については、出願時に推薦する指導教員の推薦書を提出してください。
- 注2. 本学以外の者の出願にあたっては、事前に志望するコースのコース長に、受験希望及び配属希望研究室をご連絡ください。
- 注3. 出願資格（3）の累積成績指標値は以下の表のとおりです。

専攻	コース	累積成績指標値
工 学	機械エネルギー工学	3.4
	電気電子工学	3.8
	知能情報システム工学	3.3
	応用化学	3.8
	福祉環境工学建築学	3.8
	福祉環境工学メカトロニクス	3.5

- 注4. 口述型を出願する場合には、英語能力試験の成績証明書の提出は不要ですが、口述型試験を不合格の判定を受けた場合に筆記型の受験を希望する者は、英語能力試験の成績証明書が必要となります。

#### 4. 出願手続

##### (1) 出願期間

第1次募集	口述型	平成30年5月21日(月)～5月28日(月)必着(土, 日を除く)
	筆記型	平成30年7月19日(木)～7月25日(水)必着(土, 日を除く)
第2次募集	筆記型	平成31年1月11日(金)～1月17日(木)必着(土, 日, 祝日を除く)

- ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
- イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

##### (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7006)

- 注. 出願を希望する者は、あらかじめ志望するコースの希望する指導教員と研究内容について相談の上、出願してください。

## 5. 出願書類等

書類名	備考
(1) 入学志願書	裏面の履歴書も必ず記入してください。写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(2) 受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(3) 口述型推薦書	本学所定の用紙（口述型出願資格（4）該当者のみ）
(4) 成績証明書	
(5) 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
(6) 学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請申立書	大学評価・学位授与機構が証明したもの ※授与見込者の申立書については様式任意 (筆記型出願資格（2）、口述型出願資格（1）該当者のみ）
(7) 英語能力試験の成績証明書 注1)	筆記型を出願する場合、全コース提出が必要です。 ※成績証明書は下の部分を切り離さずに全体を提出してください。 ※持参で出願する場合、原本とコピーの両方を提出してください。（原本は確認後返却します。）
(8) 入学検定料振替払込受付証明書等 (30,000円)  ※国費外国人留学生を除く	①②のいずれかの方法でお支払いください。 ①金融機関（郵便局を含む）でお支払いの場合 本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。（ATM不可） お支払い後は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）でお支払いの場合 以下の URL から申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ・本学ホームページ ( <a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a> ) 上部メニュー→ <a href="#">入試情報</a> → <a href="#">入学検定料のコンビニ収納</a> から申し込んでください。 ・携帯電話からの申し込み URL ( <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a> ) ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。  ※手数料は本人負担となります。 ※納付した検定料は返還できません。
(9) 返信用封筒 (受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、362円分の切手を貼ったもの。
(10) 合格通知用住所シール	本学所定の用紙（4枚とも同じ住所・氏名を記入し、切り取らずに提出してください。）



注1) 出願書類（7）については、試験日の2年前から出願までの間に受験した以下のいずれかの英語能力試験の成績証明書（主催者等の証明印のあるもの）を提出してください。団体特別受験制度（カレッジ TOEIC もこれに含まれます）で受験した場合は Score Sheet（コピー不可）を提出してください。Score Sheet の原本は複写後、受験票に同封して返却します。なお、以下の4種類の英語能力試験科目の複数を受験した場合は、各自の判断で有利と思われるものを1つ選択して提出してください。

- ・ TOEIC®L&R (Listening & Reading Test)
- ・ TOEIC®L&R IP (Listening & Reading Test Institutional Program)
- ・ TOEFL®iBT
- ・ TOEFL®PBT

なお、TOEFL の得点は、以下の方法により換算します。

- ・ TOEFL®iBT の得点は ETS の作成した換算表により TOEFL®PBT の得点に換算します。



## 6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、第1次募集は口述型又は筆記型、第2次募集は筆記型によって行います。

### 第1次募集

#### <口述型>

##### ①受験資格の決定

受験資格の決定は、出願書類によって行います。なお、志願者のうち口述型の有資格者とならなかった者は、筆記型を受験することができます。その際、出願書類の再提出及び入学検定料の再徴収は行いません。

##### ②受験資格結果通知

志願者には、平成30年6月15日(金)に受験資格結果通知及び受験票を本人宛に発送します。

##### ③入学者の選抜

入学者の選抜は、専門基礎学力に関する口述試験による学力検査及び出願書類審査により行います。

##### ④口述型判定通知

専門基礎学力に関する口述試験による学力検査の判定通知は、平成30年7月17日(火)に本人宛に発送します(HP掲載等を行いません)。なお、不合格の判定を受けた場合、筆記型を受験することができます。その際、出願書類の再提出及び入学検定料の再徴収は行いません。

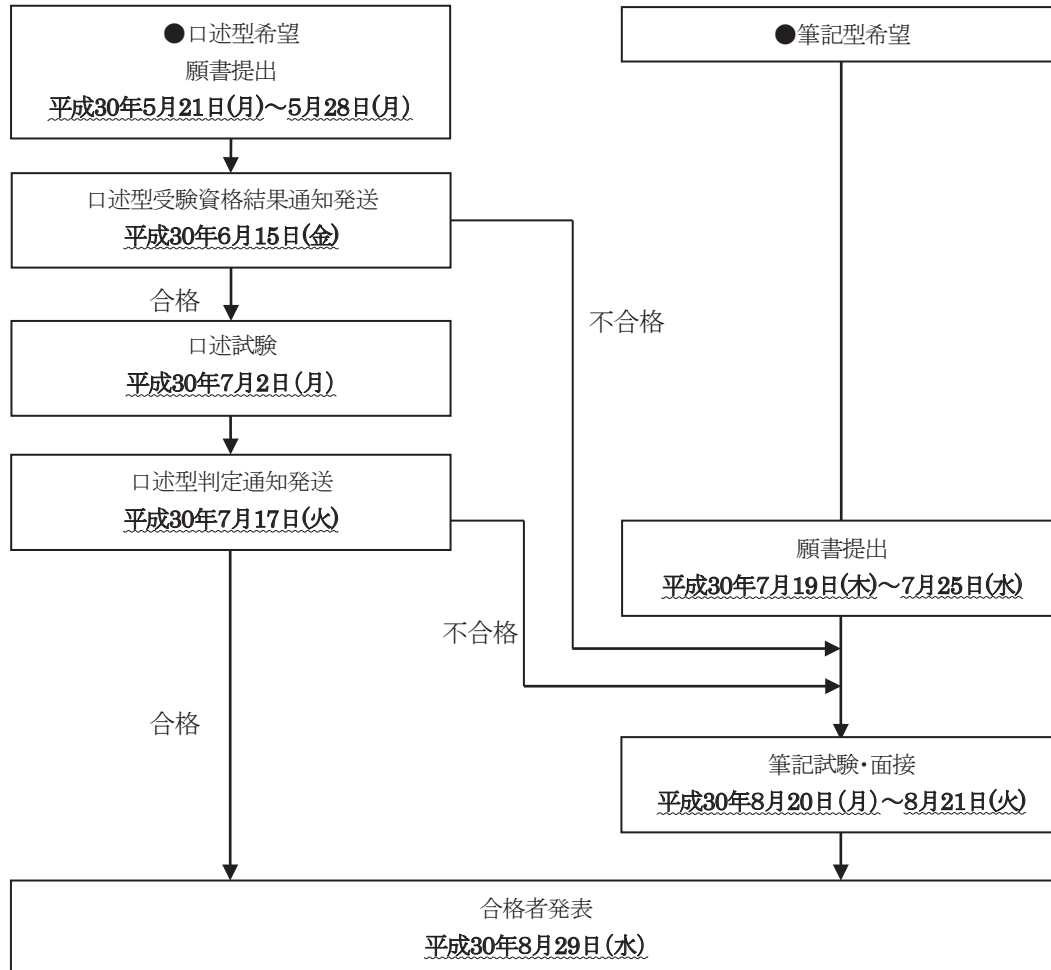
### 第1次募集・第2次募集

#### <筆記型>

入学者の選抜は、学力検査、面接及び成績証明書の結果を総合して行います。

### 第1次募集

#### 口述型と筆記型の手順



## 7. 選抜日時及び試験科目

各コースに必要な試験科目を受験しなかった場合は、不合格となります。

<口述型>

期日	試験科目	時間
7月2日(月)	専門基礎学力に関する口述試験	10時～

<筆記型>

試験科目 日時(第1次) コース(第2次)	専門科目		面接
	8月20日(月)10時～	8月21日(火)10時～	8月21日(火)
	2月4日(月)10時～	2月5日(火)10時～	2月5日(火)
機械エネルギー学	注1, 注2)「熱力学A, 流体力学A, 材料力学A, 機械力学の4科目」もしくは「工業数学および熱力学B, 流体力学B, 材料力学B, 電気回路, 電磁気学, 電気機器の中から3科目選択」		学力検査終了後に行います
応用化学	注1) 無機化学, 有機化学, 物理化学, 分析化学, 生物化学, 化学工学, 高分子化学の中から4科目選択		
電気電子工学	電気電子数学 (線形代数, 多変数関数の微分・積分, 微分方程式, ベクトル解析, 複素解析, フーリエ解析, ラプラス変換, 確率統計の基礎 より出題) 電磁気学 電気回路	電子回路	

試験科目 日時(第1次) コース(第2次)	専門科目		面接
	8月20日(月)13時～	8月21日(火)10時～	8月21日(火)
	2月4日(月)13時～	2月5日(火)10時～	2月5日(火)
福祉環境工学 メカトロニクス	工業数学	注1) 機械工学(機械設計学, 機械制御<いずれも力学を含む>から出題) 注1) 電気工学(電気回路, 電磁気学, 電子回路から出題)の中から1科目選択	学力検査終了後に行います

試験科目 日時(第1次) コース(第2次)	専門科目		面接
	8月20日(月)10時～	8月20日(月)13時～	8月21日(火)
	2月4日(月)10時～	2月4日(月)13時～	2月5日(火)
知能情報システム工学	情報工学(計算機工学, アルゴリズム論, デジタル回路, 数理計画論, 多変量解析の5分野の中から4分野を選択) ※科目名は情報工学です 解答する4分野を志願書に以下の要領で記入してください。出願後の受験分野の変更はできません。 記載例: ①情報工学(計算機工学) ..... ④情報工学(アルゴリズム論)		10時～

試験科目 日時 (第1次) (第2次) コース	専門科目		面接
		8月20日(月)10時～	8月20日(月)14時～
	2月4日(月)10時～	2月4日(月)14時～	2月5日(火)
福祉環境工学 建築学	注1) 建築環境工学, 建築計画及 び都市計画	注1) 建築構造及び建築材料・建 築生産に関する科目 <構造力学, 材料力学, 各種建築 構造及び構造設計, 建築材料並び に建築施工の各科目を含む>	9時～

注1) 関数計算機能を持つ電卓の持ち込みが可能です。ただし、機械エネルギー工学コースの「工業数学」は持込物不可とします。また、プログラムが組める電卓は不可です。

また、機械エネルギー工学コースを志願する場合は、事前に希望指導教員から、受験する試験科目について指導を受けてください。

注2) 機械エネルギー工学コースは、受験科目によって試験開始時間が変わることがあります。試験開始時間についても、受験前に希望指導教員から指示を受けてください。

## 8. 試験会場

大分大学理工学部

## 9. 合格者発表

日 時	第1次募集	平成30年8月29日(水)10時
	第2次募集	平成31年2月15日(金)10時

合格者は、上記の日時に本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載するとともに本人に通知します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

# 社会人入試募集要項

## 1. 趣 旨

近年科学技術は多様かつ急速に発展しており、創造性豊かな指導的立場に立ち得る技術者、研究者の養成が求められています。このような社会的要請に応えるため、各種の研究機関、企業又は教育機関等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として本学大学院工学研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。

## 2. 入試日程

区 分	第1次募集	第2次募集
出願期間	平成30年7月19日(木) ～平成30年7月25日(水)	平成31年1月11日(金) ～平成31年1月17日(木)
試験日	平成30年8月21日(火)	平成31年2月 5日(火)
合格者発表	平成30年8月29日(水)	平成31年2月15日(金)

※第2次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

## 3. 募集人員

専 攻	コース	募集人員
工 学	機械エネルギー工学 電気電子工学 知能情報システム工学 応用化学 福祉環境工学建築学 福祉環境工学メカトロニクス	若干名

## 4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、2か年以上官公庁、企業又は教育機関等に勤務の経験のある者

- (1) 平成29年3月以前に大学を卒業した者
- (2) 平成29年3月以前に大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 平成29年3月以前に外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (6) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

注1. 出願資格(5)については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

注2. 出願資格(6)に該当する者については、出願前に入学資格の確認をする必要があるので、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

照会期限	第1次募集	平成30年7月3日(火)
	第2次募集	平成30年12月14日(金)

## 5. 出願手続

### (1) 出願期間

第1次募集	平成30年7月19日(木)～7月25日(水)必着(土, 日を除く)
第2次募集	平成31年1月11日(金)～1月17日(木)必着(土, 日, 祝日を除く)

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。


イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

### (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地 大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7006)

注. 出願を希望する者は、あらかじめ志望するコースの希望する指導教員と研究内容について相談の上、出願してください。

## 6. 出願書類等

書 類 名	備 考
(1) 入 学 志 願 書	裏面の履歴書も必ず記入してください。写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(2) 受 験 票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(3) 成 績 証 明 書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
(4) 卒 業 ( 修 了 ) 明 書	
(5) 学 士 の 学 位 授 与 証 明 書	大学評価・学位授与機構が証明したもの（出願資格（2）該当者のみ）
(6) 研究（希望）計画書	本学所定の用紙に、博士前期課程で学修したい研究課題（又は研究分野）及びその概要について1,000字以内にまとめたもの
(7) 職 務 経 歴 書	本学所定の用紙に、研究・業務歴及び研究業績を記入してください。研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合は、その業績を表す文書等の写しを添付してください。
(8) 入学検定料振替払込 受付証明書等 (30,000円)	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関（郵便局を含む）でお支払いの場合  <b>本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。（ATM不可）</b>  お支払い後は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア（一部）でお支払いの場合  以下の URL から申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。  お支払い後は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学ホームページ (<a href="http://www.oita-u.ac.jp/">http://www.oita-u.ac.jp/</a>)  上部メニュー→<a href="#">入試情報</a>→<a href="#">入学検定料のコンビニ収納</a>から申し込んでください。</li> <li>・携帯電話からの申し込み URL (<a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a>)</li> </ul> <p>※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p> <p>※手数料は本人負担となります。  ※納付した検定料は返還できません。</p> 
(9) 返 信 用 封 筒 ( 受 験 票 返 送 用 )	本学所定の封筒。あて名等を明記し、362円分の切手を貼ったもの。
(10) 合格通知用住所シール	本学所定の用紙（4枚とも同じ住所・氏名を記入し、切り取らずに提出してください。）

## 7. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験の結果を総合して判定します。

## 8. 面接試験の日程, 内容

コース	日程		内 容
	第1次募集	第2次募集	
機械エネルギー工学	平成30年8月21日(火) 10時～	平成31年2月5日(火) 10時～	面接試験では, 専門科目(志望する教育研究分野に関連した科目), 英語(外国の大学を卒業した外国人の志願者は英語と日本語), 研究業績, 研究計画書等に関して口述試験を行います。また, 研究(希望)計画書及び職務経歴書について試問します。
知能情報システム工学			
電気電子工学	平成30年8月21日(火) 午後	平成31年2月5日(火) 午後	
応用化学			
福祉環境工学メカトロニクス			
福祉環境工学建築学	平成30年8月21日(火) 午前	平成31年2月5日(火) 午前	

※面接試験を受験しなかった場合は, 不合格となります。

## 9. 試験会場

大分大学理工学部

## 10. 合格者発表

日 時	第1次募集	平成30年8月29日(水)10時
	第2次募集	平成31年2月15日(金)10時

合格者は, 上記の日時に本学ホームページ(<http://www.oita-u.ac.jp/>)に合格者受験番号を掲載するとともに本人に通知します。

なお, 電話による合否の照会には応じません。

# 共通項目

## 1. 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、以下の期限までに、次の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

提出期限	第1次募集	口述型	平成30年 5月16日(水)
		筆記型	平成30年 7月 3日(火)
	第2次募集	筆記型	平成30年12月14日(金)

## 2. 入学手続

入学手続きは3月下旬に行う予定です。合格者には、2月上旬までに入学手続きに必要な案内を送付します。

なお、在職のまま入学される方は、入学手続き時に勤務先の入学承諾書を提出していただきます。

## 3. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

- (1) 入学料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度が、授業料については免除・奨学融資の制度があります。免除・徴収猶予の申請は、入学手続期間に行う必要がありますので、詳細については、学生支援課奨学支援グループ（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。
  - (2) 入学料、授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
  - (3) 納付した入学料は返還できません。
- (注) 入学料免除・徴収猶予を申請された方で、入学手続完了後に入学を辞退した場合には、直ちに入学料を納付しなければなりません。

## 4. 注意事項

- (1) 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学者選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として利用します。
- (2) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。
- (3) 記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 最初に受験する科目の試験開始時刻の15分前までに各試験室に入室してください。
- (5) 災害に関する特別措置（入学検定料等）につきましては、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/>) でお知らせします。

## 5. その他

社会人入学者等について、長期履修制度を認めています。

長期履修制度とは、標準修業年限（2年）を超えて、4年以内の期間で計画的に教育課程を履修し修了することができる制度です。この間の授業料は、履修期間に応じて按分することとしています。申請は、入学手続き時です。



# 工学研究科博士前期課程案内

工学研究科博士前期課程は、学部における一般的及び専門的教養を基礎として、広い視野に立って工学のコース分野を研究し、高度な学識と研究能力を養うものです。修業年限は2年で、各コース所定科目について所定の単位を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（工学）の学位が授与されます。

## 1 コースの概要

### 〈機械エネルギー工学コース〉

複雑化・高度化した現在、科学技術は、従来の機械工学・電気工学といった縦割りの学問形態のみでは対応困難となっています。本コースでは、専門領域の知識のみならず、それら枠組みを越えて幅広く問題を捕らえる視野をもった人材の養成を目指します。

このため、学生は、当初から各講座の研究室に属して、担当教員の指導のもとに専門領域の勉学研究を行うとともに、機械的・電氣的領域を中心として他の関連領域を身に付けるよう配慮されています。

### 〈電気電子工学コース〉

学部で修得した専門的知識及び技術を基礎として、電気電子工学の分野で指導的な役割を果たす創造性豊かな研究者及び技術者の育成を目的としています。

このため、電気電子工学全般にわたる広い知識を身につけ、より精密な学識と研究及び研究指導能力を養うことに重点を置き、電気電子工学の分野に必要な授業科目が選択できるよう配慮しています。また学生は、制御コミュニケーション、電子デバイス工学、電磁ダイナミクス及び電子情報システム工学のいずれかの講座に属し、担当教員の指導により社会的要求に応え得る能力を身に付けるようになっています。

### 〈知能情報システム工学コース〉

近年、情報処理システムは、スーパーコンピュータに見られる高速処理、学術情報システムに見られる大量処理、認知科学や人工知能に見られる知的処理等、急速に複雑かつ高度化が進みつつあります。

本コースは、これらの進展に対処するため、基礎情報学、計算機工学、知識科学等にわたる高度の研究教育を行い、時代の要請する専門技術者、研究者及び教育者を養成することを目的としています。

### 〈応用化学コース〉

本コースでは、化学の諸問題に対応する場面において指導的な役割を担うことのできる研究者、技術者、教育者の育成を目的としています。このため学生には、講義や研究指導を通して化学全般にわたる広い知識と技術を修得するとともに、環境・エネルギー問題に関連した機能性材料・新素材開発、地元農林水産物を原料とした食品開発、廃棄物再資源化技術、レーザー化学分析技術、高圧有機反応化学などから研究テーマを選択し、研究計画の作成から実行、結果の解析から考察までの一連のサイクルをサポートを受けながら繰り返し、最終的に論文としてまとめるためのカリキュラムが用意され、第一線で活躍するために必要不可欠な能力が育成されるように配慮されています。

### 〈福祉環境工学 建築学コース〉

本コースは、学部で修得した建築学全般にわたる基礎的知識・技術を基に、さらに advanced course としての建築学及びこれに関連する分野の専門的素養を持った高度な技術者、研究者、教育者の育成をはかります。

学生は、担当教員の指導のもとに、講義等に参加し、勉学を行うことで高度な学識を修得します。また、環境計画（音光熱空気の建築環境と設備・建築計画・都市計画を含む）及び構造設計（建築材料・建築構造を含む）などの研究室に属し、指導教員のもとに専門的研究を行います。

### 〈福祉環境工学 メカトロニクスコース〉

本コースは、21世紀の福祉社会の要請に応える生活の質（QOL）の向上に貢献することを目的とし、日常生活における機能回復への支援や福祉的生活環境の実現、さらにはユニバーサルデザインなどに關する技術を総合的工学の立場から発展させ、福祉マインド、すなわち人間とそれを取り巻く環境をひとつのシステムとして考えられる人間性重視の設計思想をもった高度技術者及び研究者を養成するための教育・研究を行います。

2 分野別授業科目

分 野	授 業 科 目	
分野横断型・融合型科目群	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義	プロジェクトゼミ プロジェクト研究
分野横断型特別講義群	機械エネルギー工学特別講義 電気電子工学特別講義 知能情報システム工学特別講義	応用化学特別講義 福祉環境建築学特別講義 福祉環境メカトロニクス特別講義
工学基礎科目群	関数解析学特論第一 関数解析学特論第二 応用幾何学特論第一 応用幾何学特論第二 応用代数学特論第一 応用代数学特論第二 応用解析学特論第一 応用解析学特論第二 解析学特論第一 解析学特論第二 位相空間論特論第一 位相空間論特論第二 情報数学特論第一 情報数学特論第二	幾何学特論第一 幾何学特論第二 液晶物理学特論 自己組織化構造解析特論 非線形力学系特論 コロイド物理学特論 システムLSI設計特論 設計解析特論 応用力学特論演習一 生物工学特論第一 生物工学特論第二 触媒材料科学特論
機械エネルギー工学分野	材料力学特論第一 材料力学特論第二 熱工学特論第一 熱工学特論第二 伝熱学特論 流体工学特論 流体機械特論 振動工学特論 機械力学特論第一 機械力学特論第二 流体力学特論 機械設計学特論	熱エネルギー解析工学特論 熱流体エネルギー解析工学特論 粘性流体工学特論 粘性流体工学特論演習 弾性力学特論 計算固体力学特論 電磁流体工学特論第一 電磁流体工学特論第二 非線形システム特論第一 非線形システム特論第二 電磁気計測工学特論
電気電子工学分野	電磁気学特論第一 電磁気学特論第二 電制御システム特論 通信工学特論 音響工学特論 電気エネルギー工学特論 電気機器工学特論 電力工学特論第一 電力工学特論第二 信号処理学特論 電子物性特論 フオトニクス特論	電子物性特論第二 電磁力学特論第一 電子回路特論第一 電子回路特論第二 電子機器特論 情報伝送工学特論第一 情報伝送工学特論第二 電磁波工学特論 応用電子工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二

分野	授業科目
知能情報システム工学分野	<p>情報数理特論第1 情報数理特論第2 情報数理特論第3 数理工学特論第1 数理工学特論第2 生体システム特論第1 情報処理工学特論第1 情報処理工学特論第2 情報システム特論第1 情報システム特論第2 計算機システム特論第1 計算機システム特論第2 計算機システム特論第3 システムプログラミング特論第1</p> <p>システムプログラミング特論第2 知能システム特論第1 知能システム特論第2 知能システム特論第3 知識工学特論第1 知識工学特論第2 情報工学演習第1 情報工学演習第2 システム工学演習第1 システム工学演習第2 情報システム特別実習ⅠA 情報システム特別実習ⅠB 情報システム特別実習ⅡA 情報システム特別実習ⅡB</p>
応用化学分野	<p>固体表面化学特論 分離工学特論 分析化学特論 セラミックス化学特論 材料工学特論 無機構造解析特論 高分子材料化学特論 機能材料化学特論 有機材料化学特論 物理有機化学特論</p> <p>有機構造活性相関特論 生体模倣化学特論 キラル化学特論 生物有機化学特論 生物分析化学特論 ミネラル化学特論 応用化学特別研究第1 応用化学特別研究第2 応用化学特別演習</p>
福祉環境工学建築学分野	<p>建築環境工学特論第1 建築環境工学特論第2 建築環境工学特論第3 建築設備計画特論第1 建築設備計画特論第2 建築設備計画特論第3 建築・都市デザイン特論 福祉建築計画特論 都市計画特論 都市設計特論 建築計画設計特別演習第1 建築計画設計特別演習第2 建築構法特論 建築構造設計特論第1 建築構造特論第2 建築構造特論第3</p> <p>建築木質構造設計特論 材料設計特論 建築材料工学特論 建築耐久設計特論 建築生産工学特論 建築環境設計演習第1 建築設計特論演習第1 建築構造設計演習第1 建築材料設計演習第1 建築環境設計演習第2 建築設計特論演習第2 建築構造設計演習第2 建築材料設計演習第2 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ</p>
福祉環境工学メカトロニクス分野	<p>身体運動工学特論 人間工学特論 生体運動解析法特論 運動機能工学特論第1 生体支援工学特論第2 生体支援工学特論第3</p> <p>福祉ロボット動力学特論 生体ダイナミクス特論 電磁アクチュエータ特論 福祉メカトロニクス特論 人間情報工学特論</p>
グローバル分野・学外特別実習科目群	<p>M O T 特論Ⅰ M O T 特論Ⅱ M O T 特論Ⅲ M O T 特論Ⅳ ベンチャービジネス論</p> <p>英語表現法特論Ⅰ 英語表現法特論Ⅱ 英外特別実習A 英外特別実習B 英外特別研究</p>



— 大分大学学生支援部入試課 —

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL:097-554-7006

FAX:097-554-7472

(E-mail:nyucenter@ oita-u.ac.jp)

(URL:http://www.oita-u.ac.jp/)